

解決！！画面でわかる簡単ガイド

Arcserve[®] Backup r16

仮想環境データ保護 (VMware ESX)

～ 仮想マシン“丸ごと”復旧手順 ～

2012 年 12 月

arcserve[®]

目次

はじめに.....	3
仮想マシンの復旧	5
まとめ	15

改訂履歴

2012/12	初版リリース
2014/10	社名変更

このドキュメントに含まれる特定の情報は、Arcserve 製品の全体的な方向性に関する概略を説明しています。このドキュメントは、(i) 既存または将来作成される Arcserve のソフトウェア製品に関するライセンス契約書またはサービス契約書において、Arcserve またはライセンシーの権利および / または義務に影響を与えたり、(ii) Arcserve のソフトウェア製品のいかなる製品ドキュメントや仕様書を修正したりするためのものではありません。このドキュメントに記述された機能の開発、リリース、時期についての決定権は、Arcserve のみが有します。

Copyright ©2014 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved. Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows ロゴは、米国またはその他の国、あるいはその両方における Microsoft Corporation の商標です。本書で参照するその他すべての商標、商号、サービスマーク、およびロゴは、それぞれの会社に属します。

本書は情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

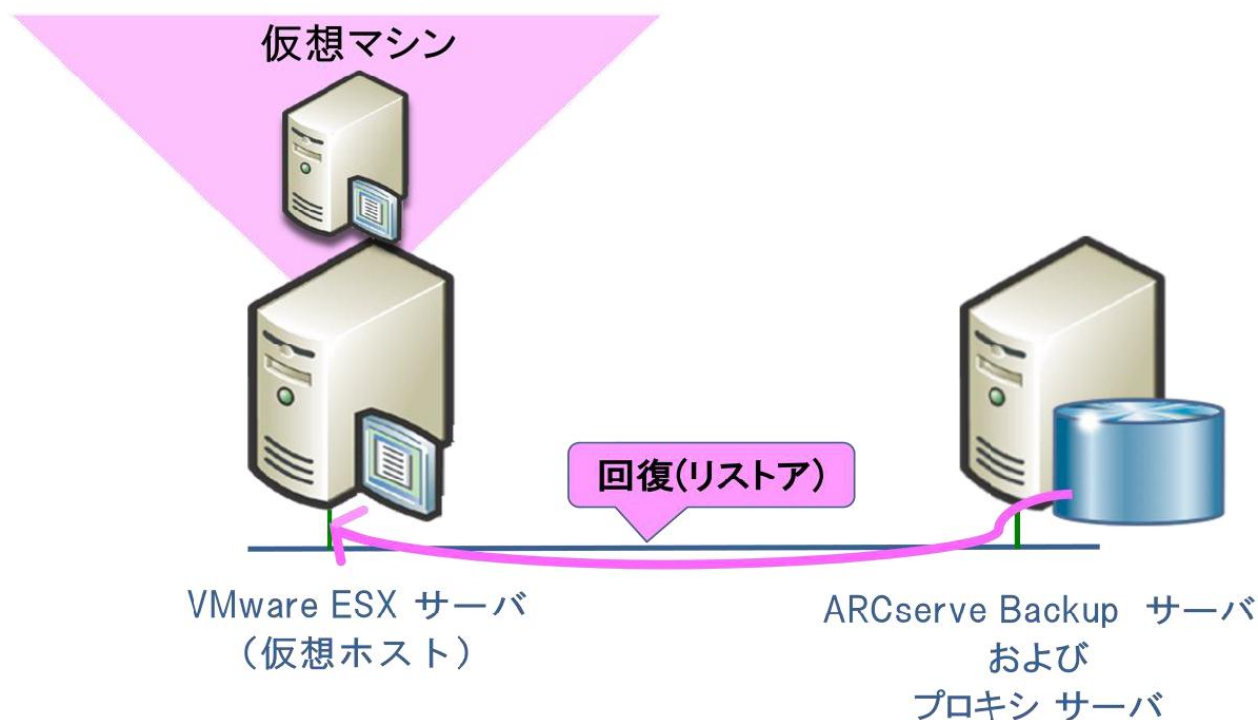
はじめに

グリーン IT やサーバの設置スペース、運用コストの削減や既存業務システムの移行など、今や仮想化システムはテスト環境のみならず、本番環境でも数多く導入されてきています。いまや仮想化システムは本番環境には欠かせない構成であり、仮想化環境ならではの容易なサーバ追加や導入コストの削減、運用効率だけでなく、物理環境同様の安定稼働や事業継続などの付加価値の高いサービスの維持も求められています。こうした中で仮想化システムのバックアップも、より簡単に、より効率的にデータを保護する需要が高まっています。

このガイドでは、Arcserve Backup r16 for Windows (以降 Arcserve Backup と表記) を使った、仮想化システム上に構築される仮想マシン(ゲスト OS)の復旧方法について、画面イメージとともに1つずつ復旧手順を説明します。

本ガイドの構成

本ガイドでは、仮想マシンの簡単な復旧方法に焦点をあて、丸ごと(全体イメージ)でハードディスクにバックアップされたデータからの復元について説明しています。



仮想マシンの障害からの復旧

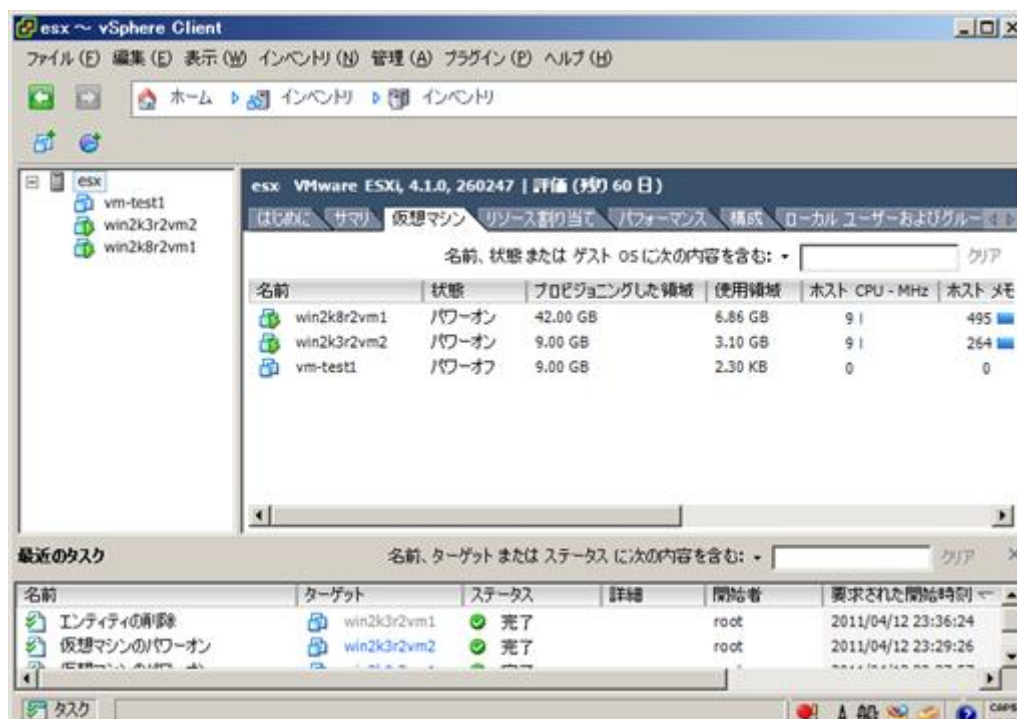
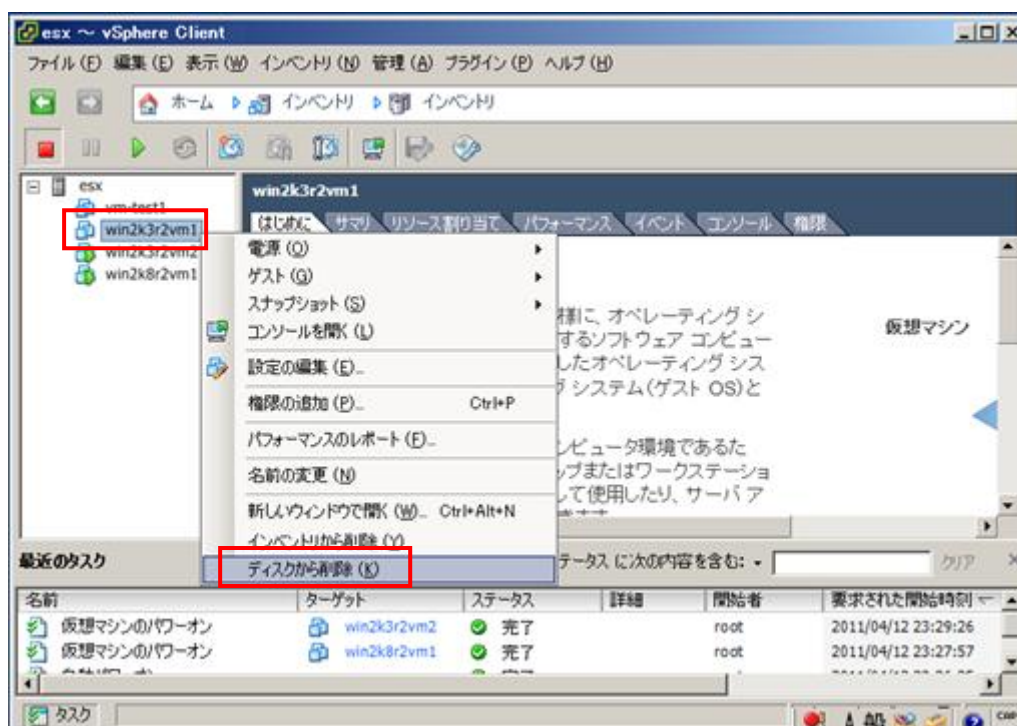
ハードウェア障害などにより、仮想マシンが利用できなくなった場合、バックアップ データからの復旧が必要になります。VMware などの仮想化環境は多くの本番環境やテスト環境に導入されていますが、特に本番環境ではいかに短時間でサービスを再開できるかが鍵になります。Arcserve Backup の Agent for Virtual Machines は、僅かなステップで仮想マシンの復旧ができるため、特別なスキルを身に付けることなく、短時間で簡単に仮想マシンの復旧をすることができます。

仮想マシンの障害

仮想マシンに障害が発生した場合、本番環境を再開するために、バックアップ データから仮想マシンを復元します。

このガイドでは、仮想マシン障害の擬似環境を作るため、仮想マシンを削除します。

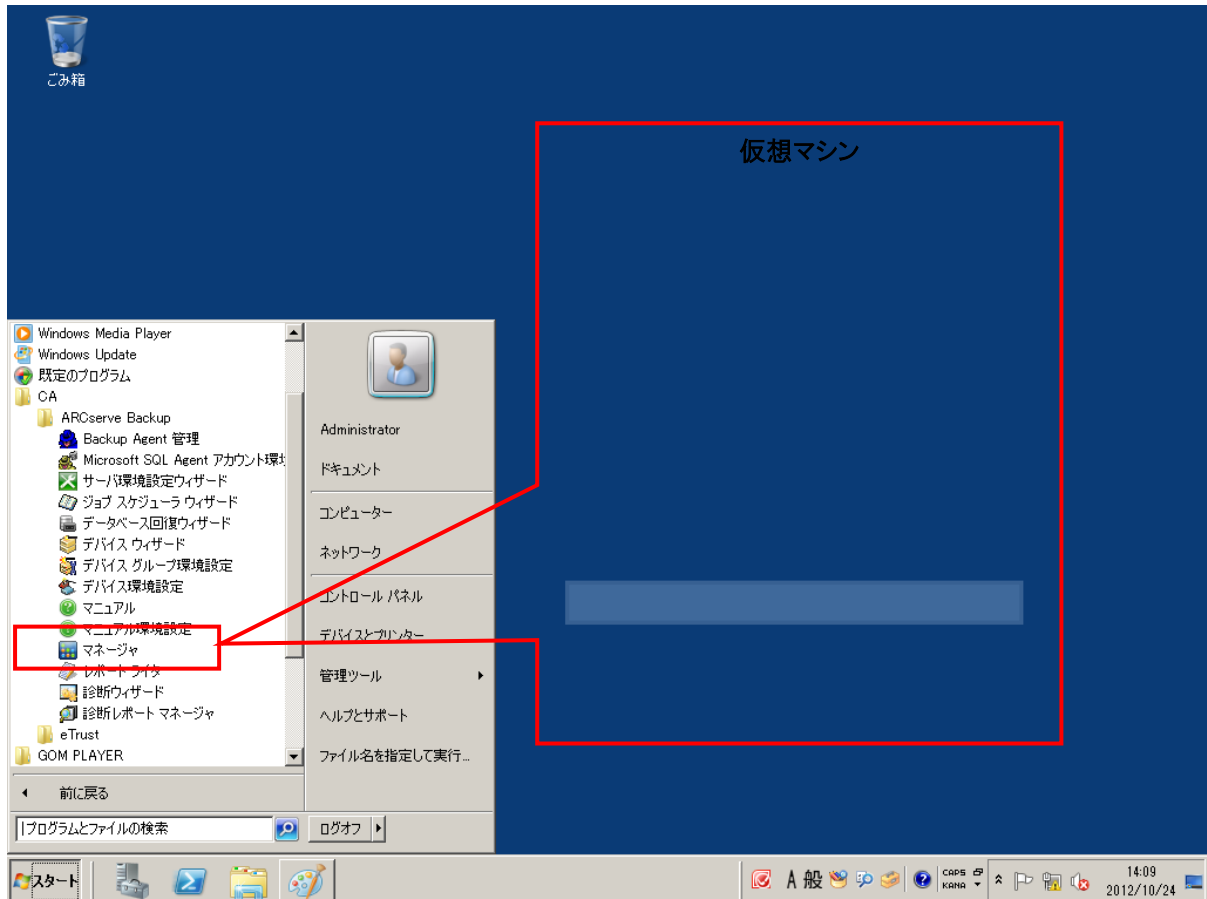
(バックアップ済みの仮想マシン: WIN2K3R2VM1 を VMware の管理クライアントから削除します。)



仮想マシンの復旧

Arcserve Backup にて、バックアップ済みの仮想マシンを復元するために、復旧処理を実施します。

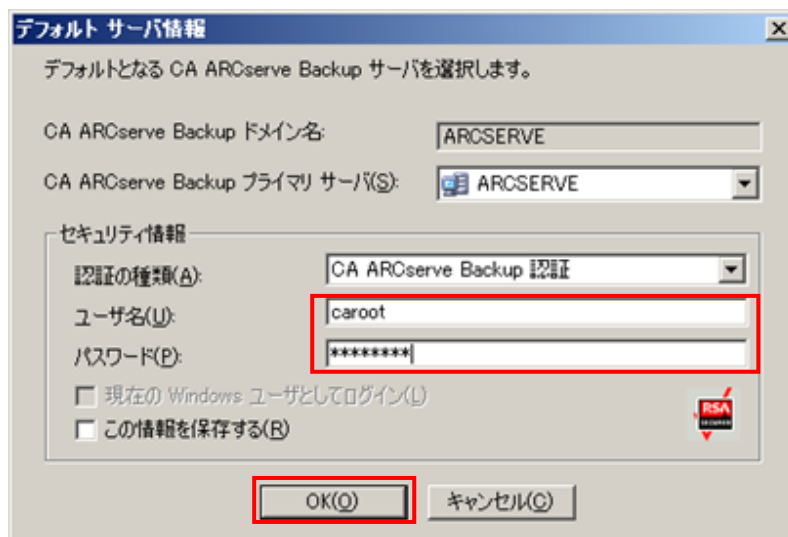
1. Arcserve Backup の管理コンソールである [ARCserve Backup マネージャ] を起動します。
[ARCserve Backup マネージャ] を起動するには、Windows の [スタート] メニューより、[すべてのプログラム] - [CA] - [ARCserve Backup] - [マネージャ] を選択します。



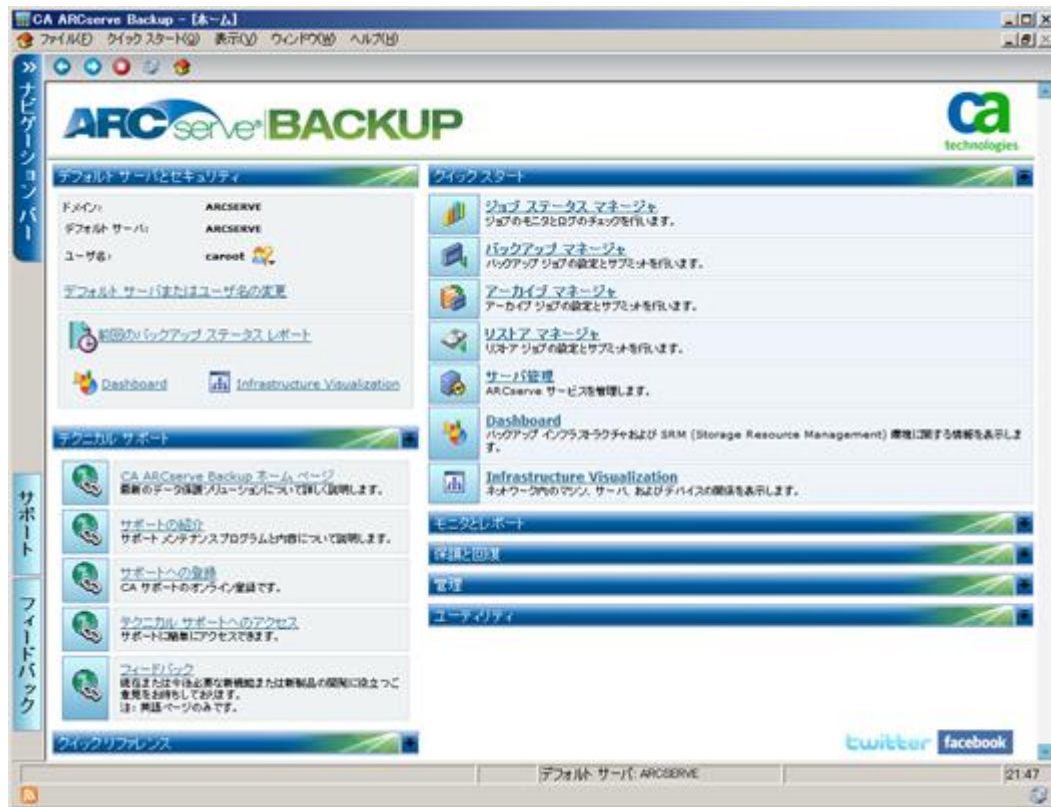
[ARCserve Backup マネージャ] 起動前に、[デフォルト サーバ情報] の画面が表示されます。Arcserve Backup のインストール時に入力した caroot のアカウント情報を入力し、[OK(O)] をクリックします。

ユーザ名(U): caroot

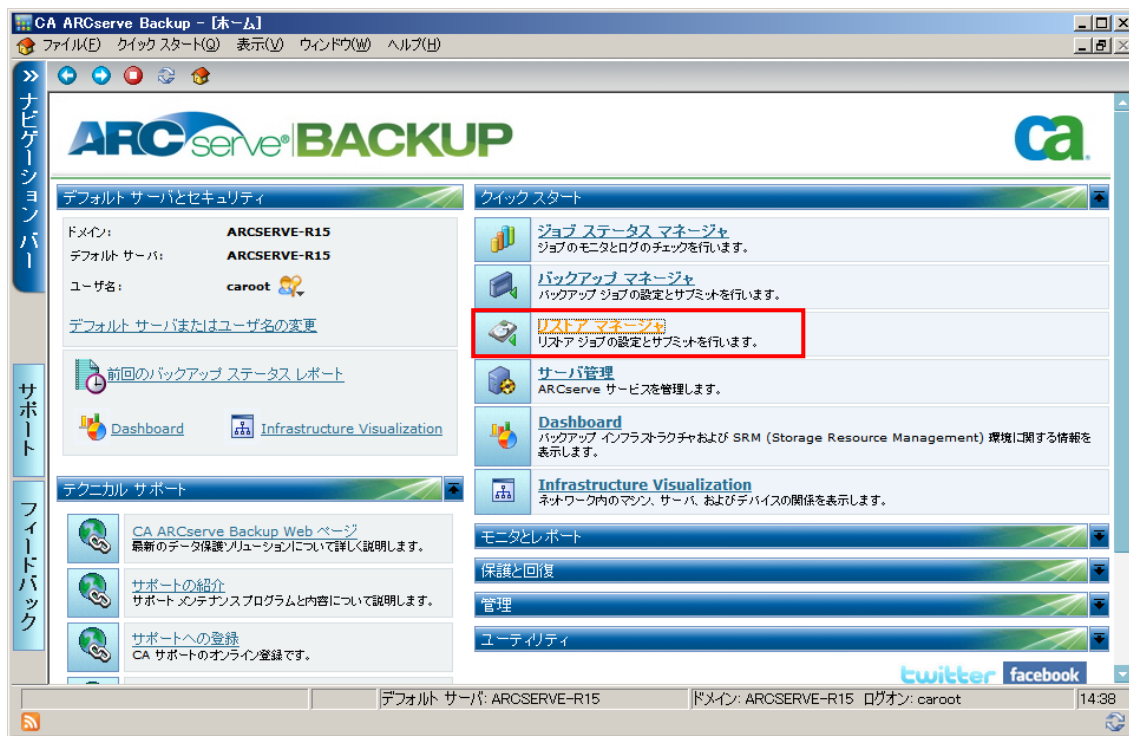
パスワード(P): Arcserve Backup のインストール時に入力したパスワード



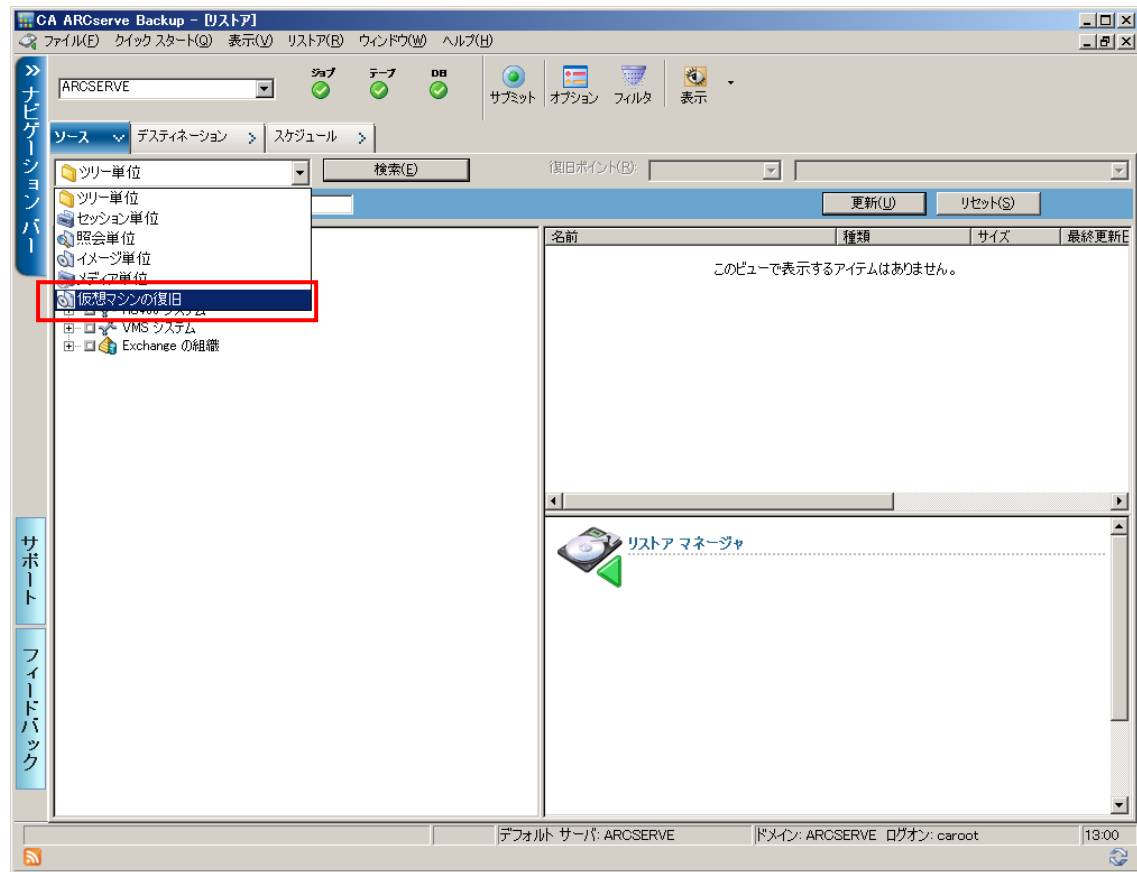
[ARCserve Backup マネージャ] の [ホーム] 画面が起動します。



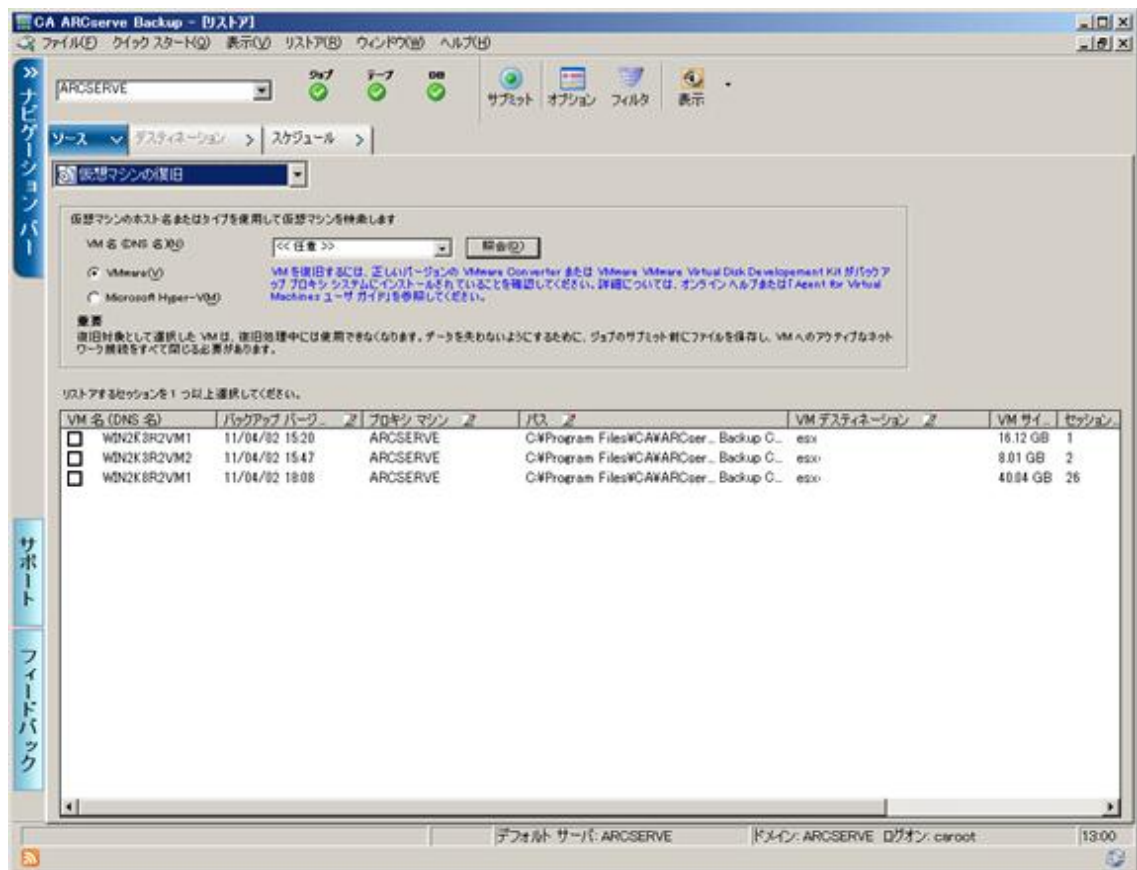
2. 仮想マシンを復旧するために、[リストア マネージャ] をクリックします。



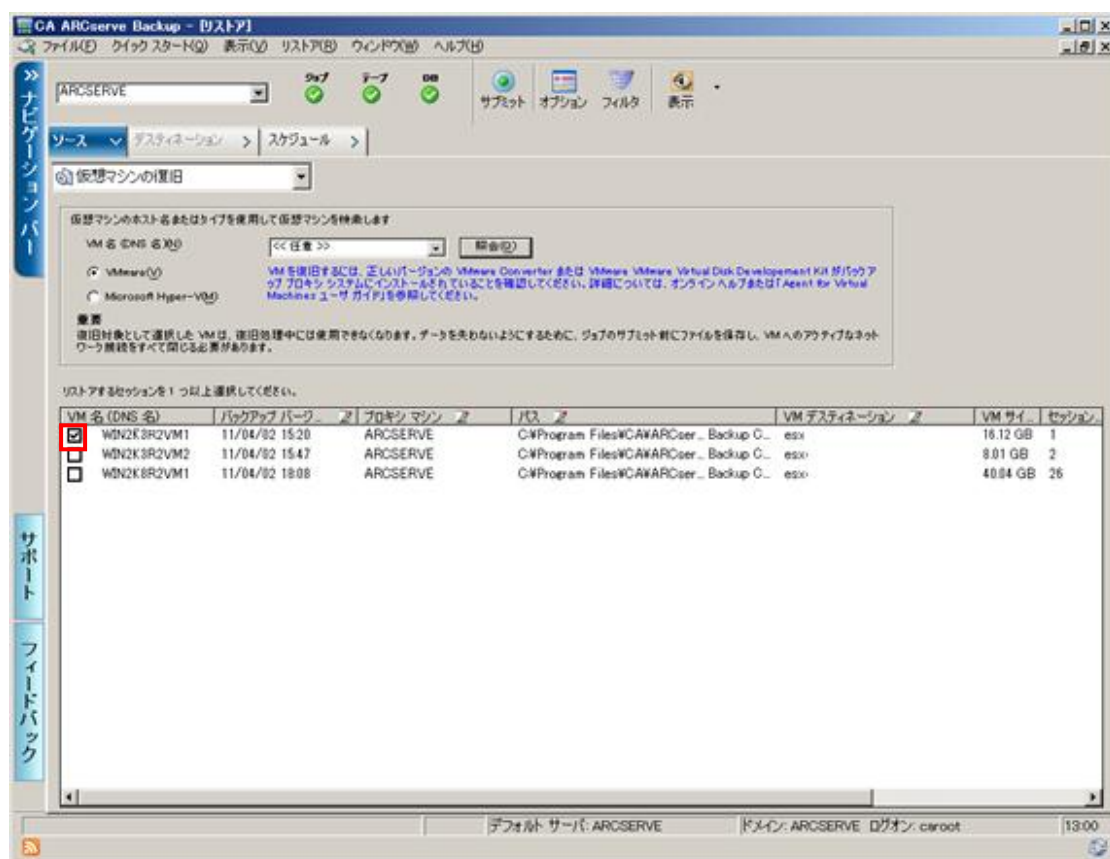
3. 仮想マシン専用の復旧メニューである、[仮想マシンの復旧] をプルダウン メニューから選択します。



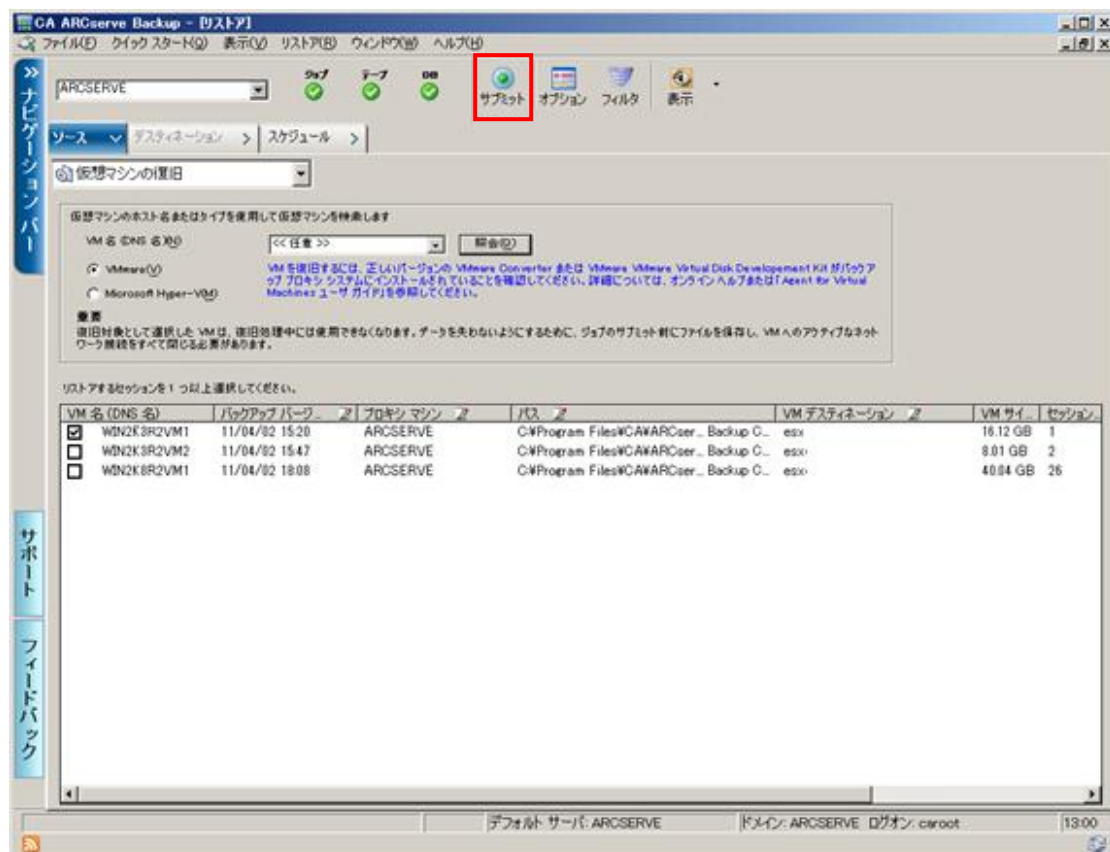
[仮想マシンの復旧] 画面が開きます。



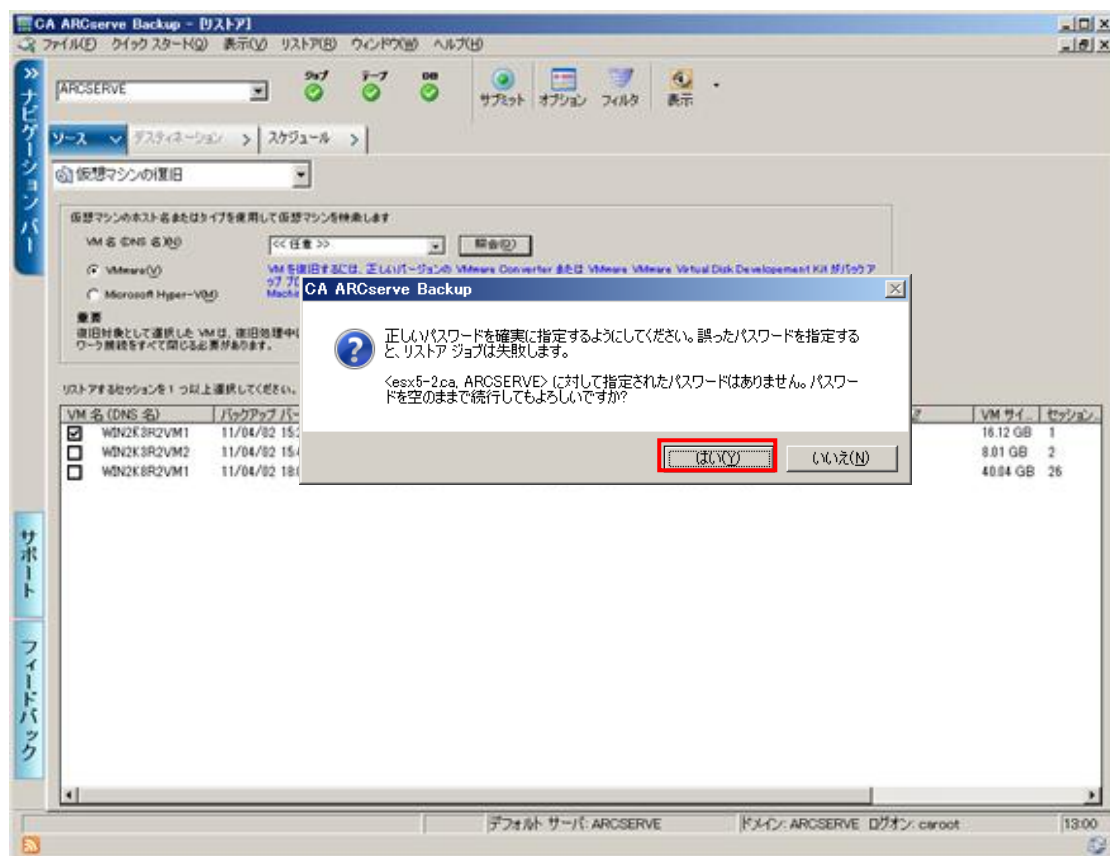
4. バックアップ済みの仮想マシンが一覧表示されます。復旧する仮想マシン名を確認し、[VM 名(DNS 名)] の欄にある ☐ をクリックしてチェックを付けます。このガイドでは、復旧対象として WIN2K3R2VM1 を選択します。



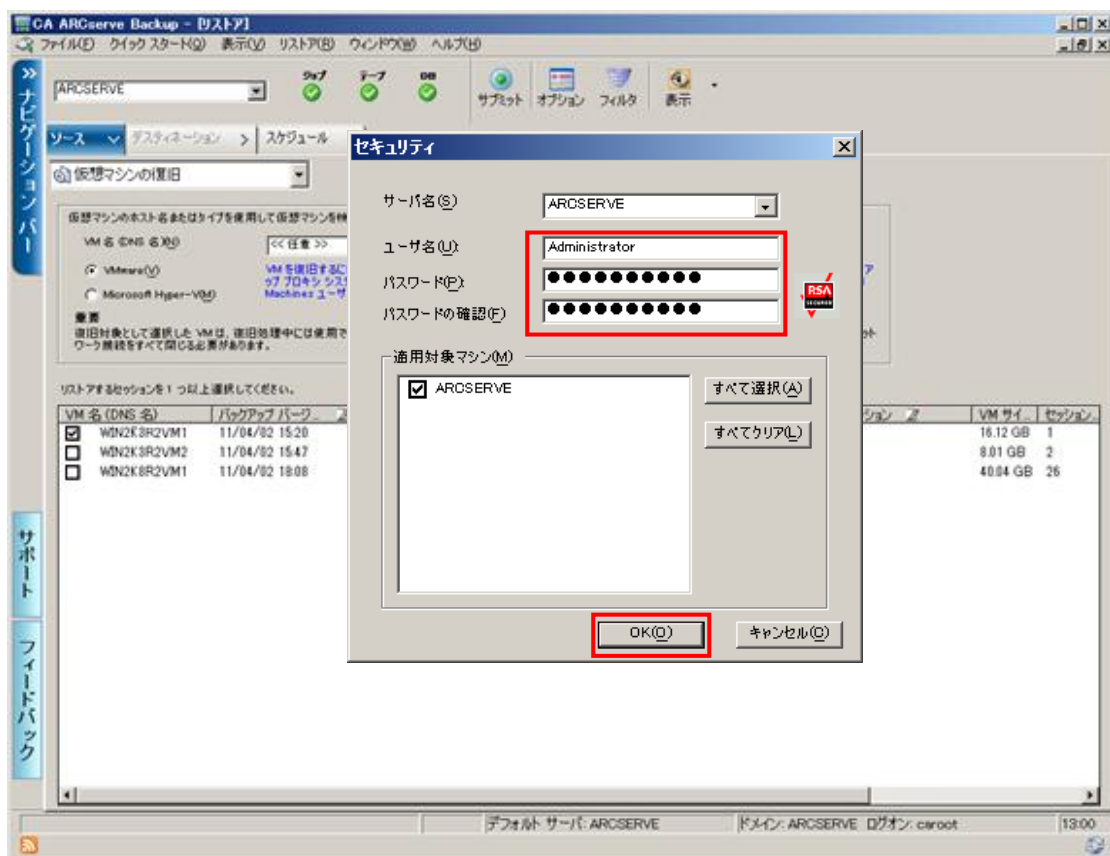
5. 仮想マシンの復旧処理を実行します。
[サブミット] ボタンをクリックします。



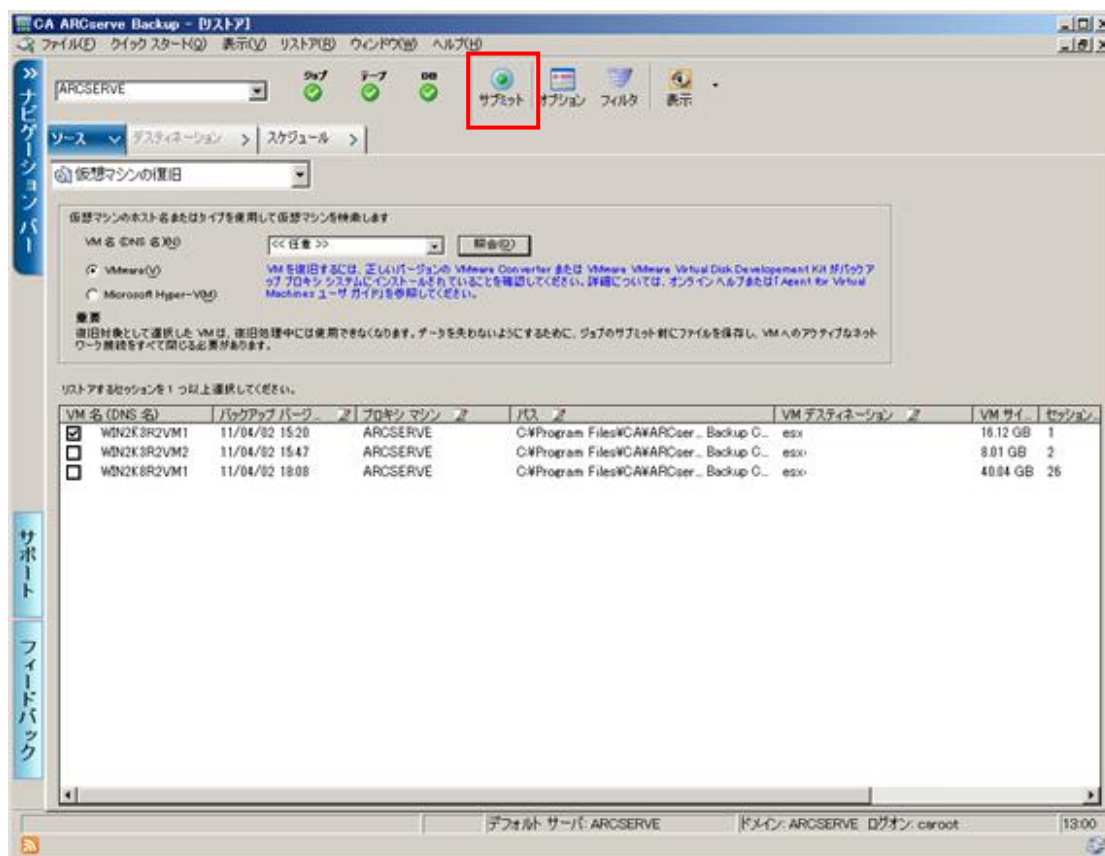
6. プロキシ サーバのアカウント情報を指定するため、ポップアップ画面では [いいえ] をクリックします。



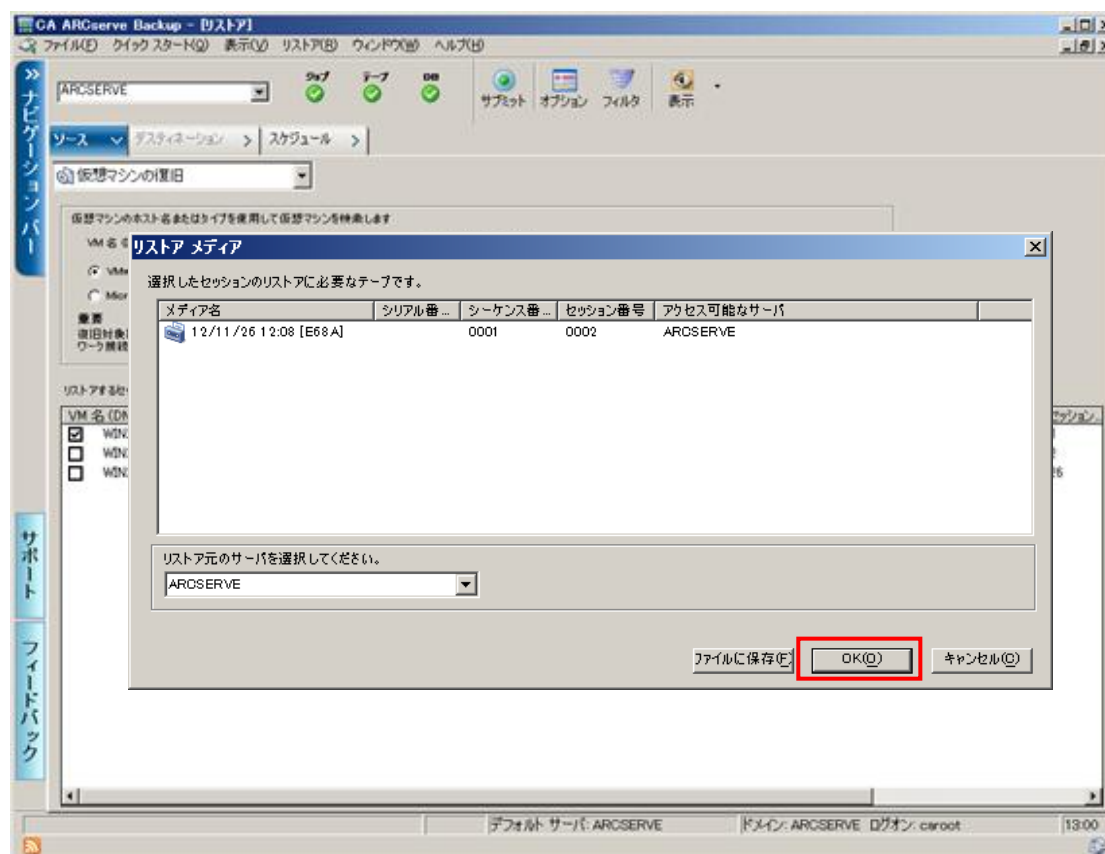
7. 表示された [セキュリティ] 画面でプロキシ サーバのユーザ名とパスワードを指定し、[OK] をクリックします。



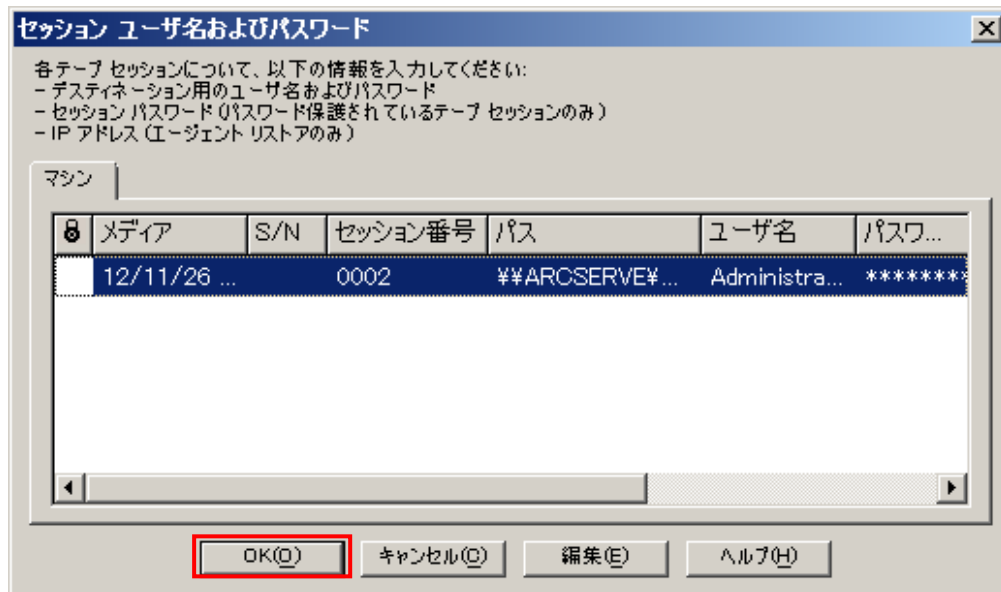
8. 再度、[サブミット] ボタンをクリックします。



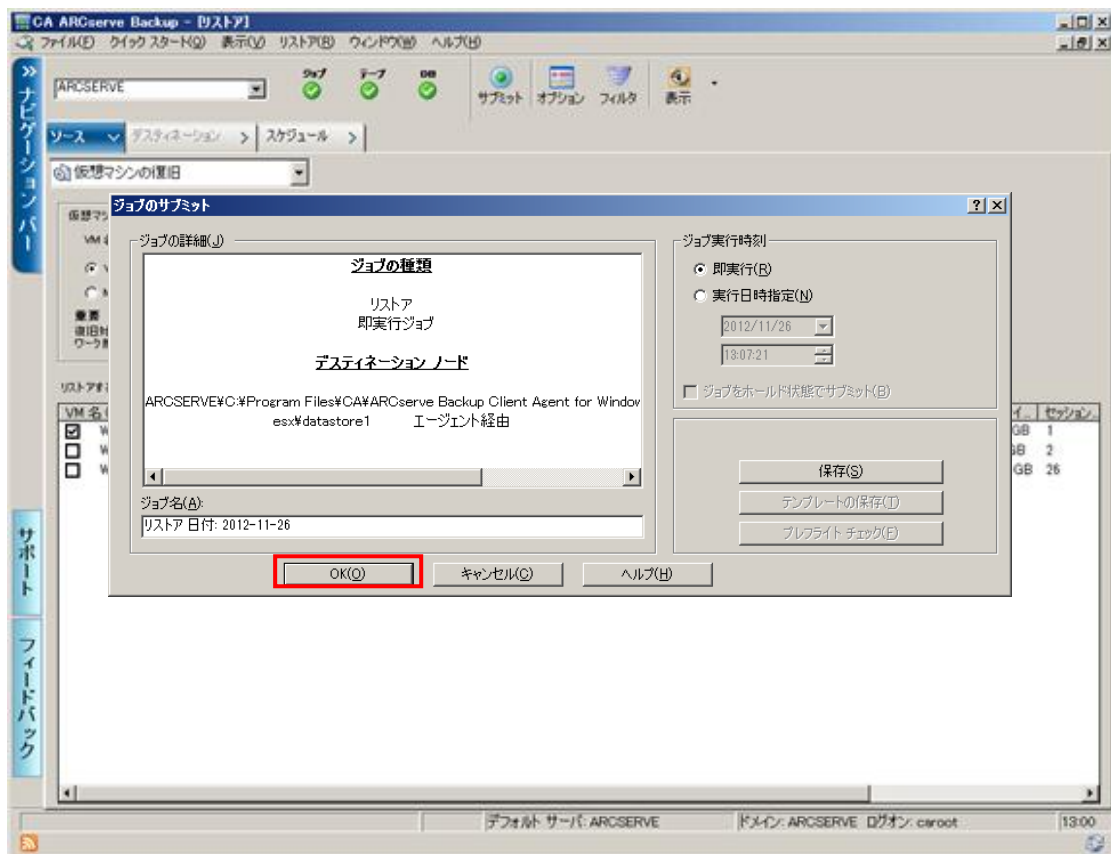
9. [リストアップ メディア] 画面にて、仮想マシンがバックアップされたメディア情報が表示されます。このガイドでは、ハード ディスクにバックアップしたデータから仮想マシンを復旧するため、このまま [OK] をクリックします。



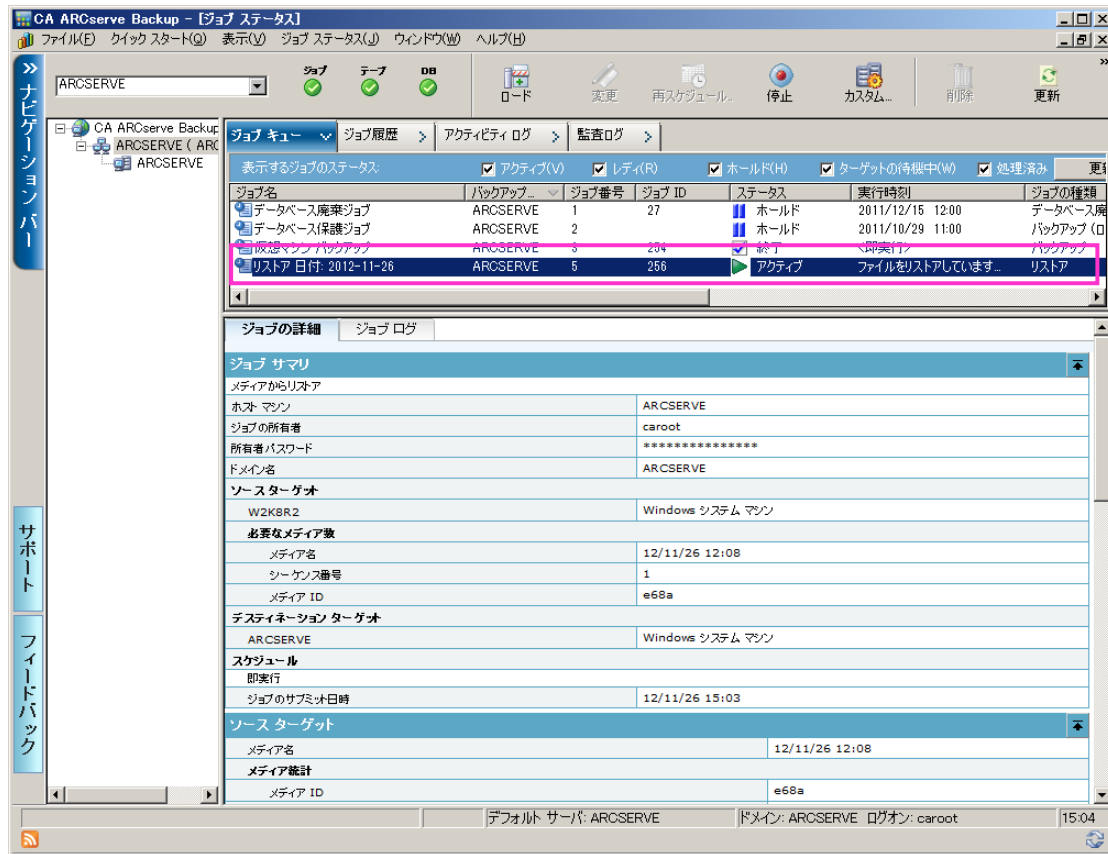
10. [セッション ユーザ名およびパスワード] 画面では、このまま [OK] をクリックします。



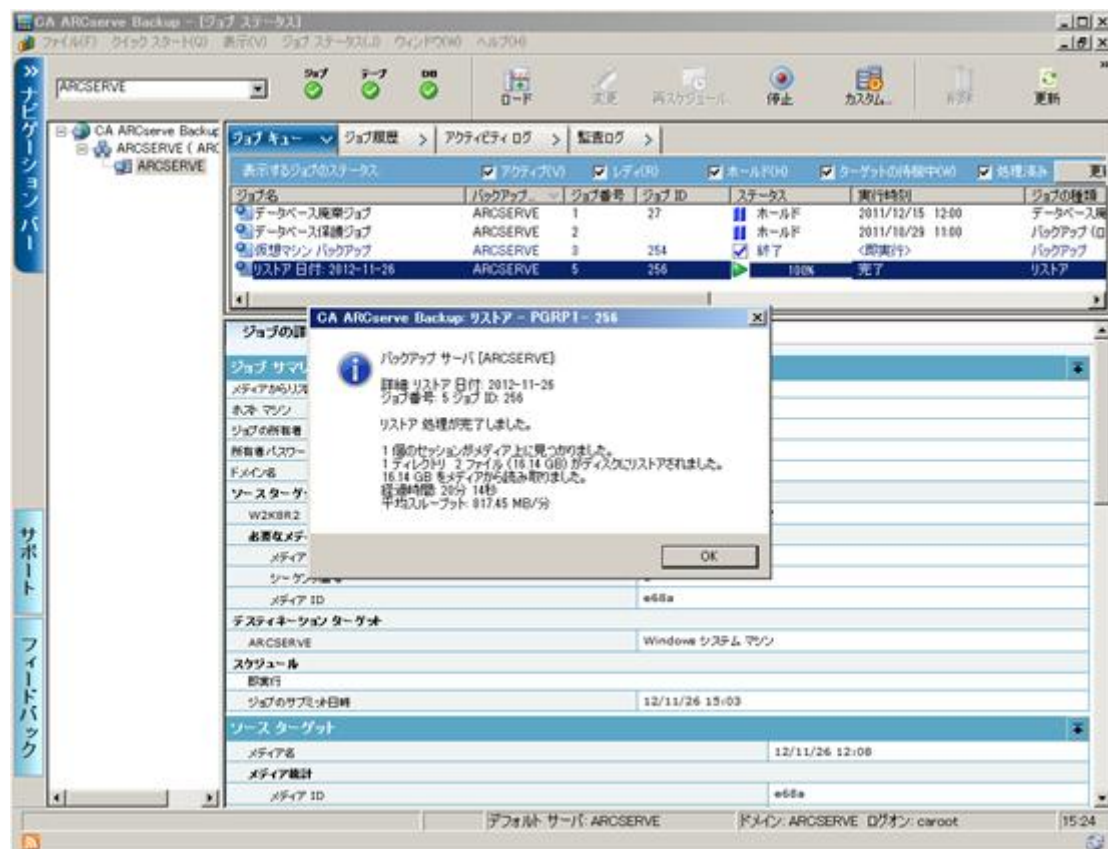
11. すぐに復旧処理を始めるため、[ジョブのサブミット] 画面でも、このまま [OK] をクリックします。



データを復旧するための [リストア マネージャ] 画面から、ジョブを監視するための [ジョブ ステータス] 画面に自動的に切り替わり、データの復旧処理(リストア)が実行されます。



仮想マシンの復旧プロセスが終了すると、復旧処理(リストア)が終了します。

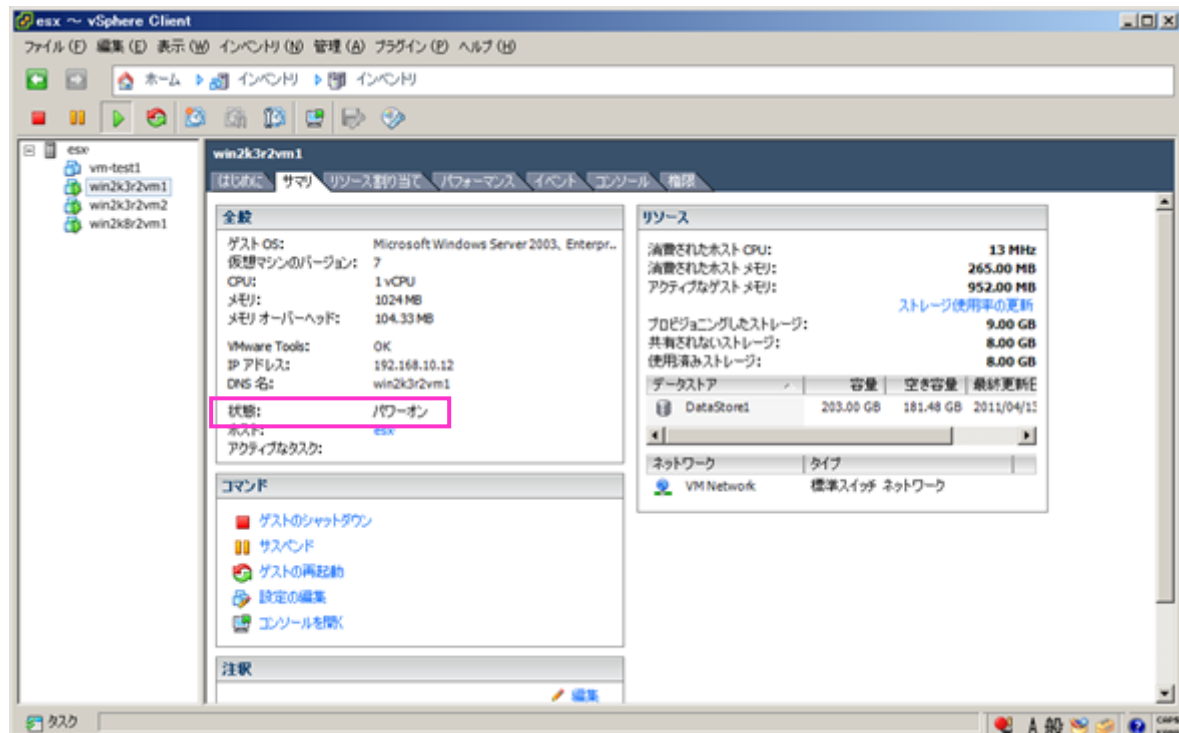


仮想マシンの復旧確認

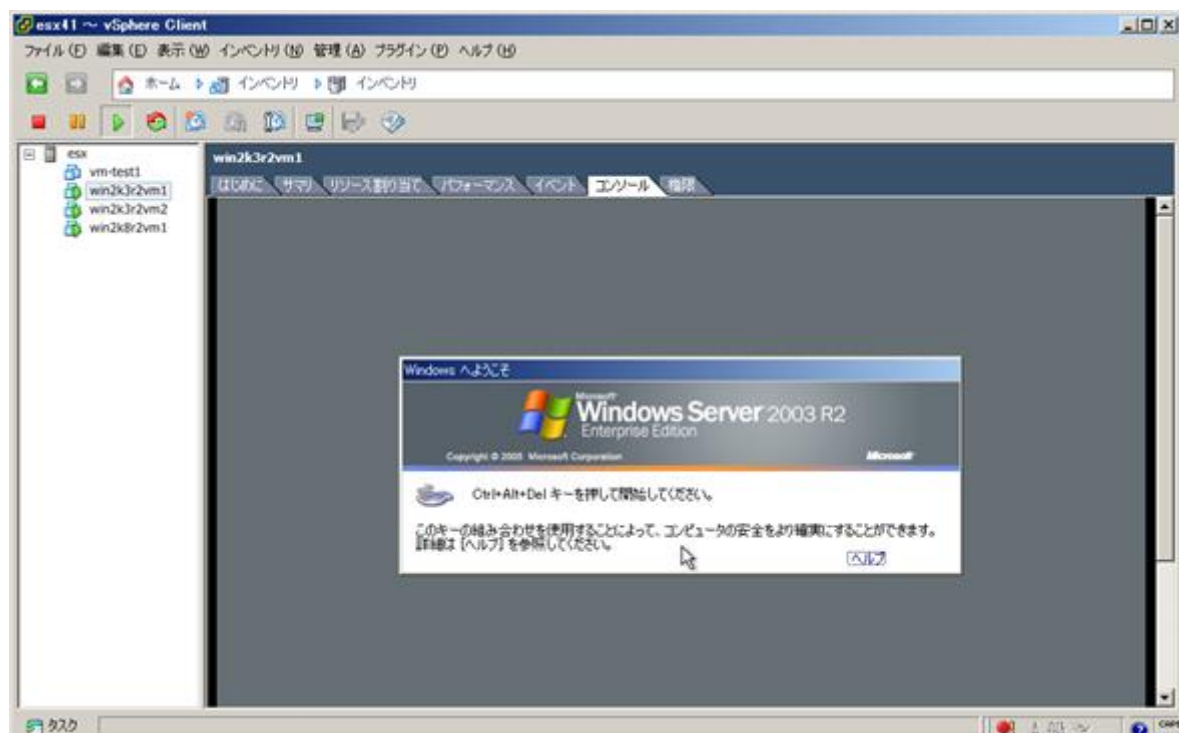
Arcserve Backup での復旧処理(リストア)が完了すると、VMware ESX にて仮想マシンが起動し、サービスが提供されている状態になります。(サービス自動起動に設定されている場合)

1. VMware 管理クライアントでの復旧確認

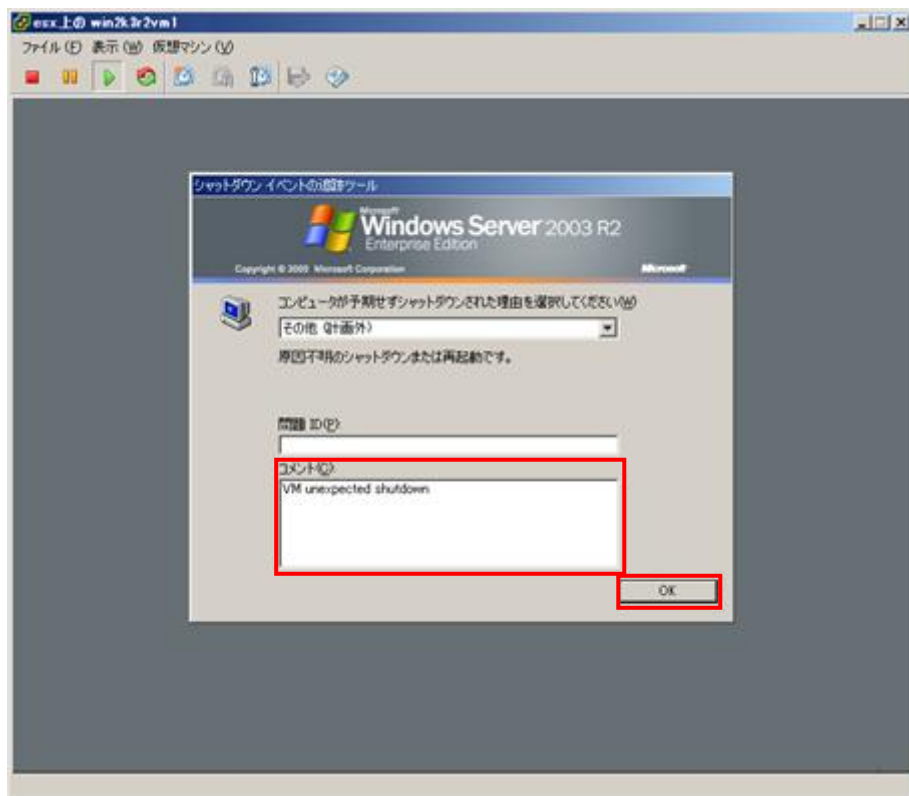
仮想マシン: WIN2K3R2VM1 の状態が “パワーオン” になっていることを確認します。



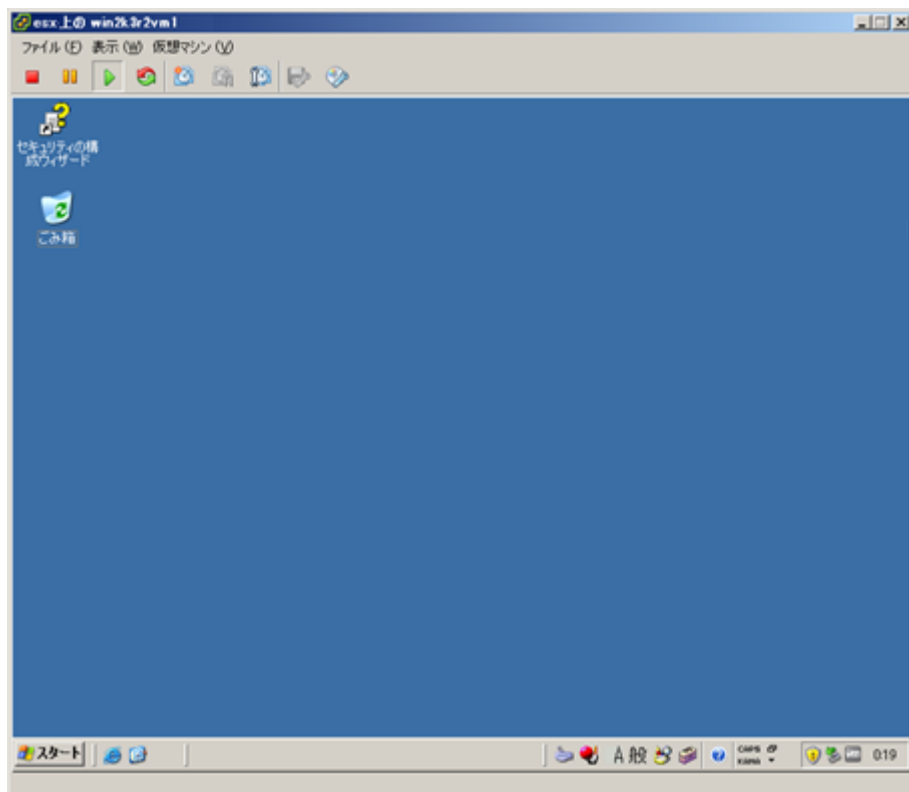
コンソール タブを開き、仮想マシンに Ctrl + Alt + Delete を送信します。仮想マシンにログインします。



Windows にログインすると、[シャットダウン イベントの追跡ツール] の画面が開きます。これは稼動状態の仮想マシンをバックアップし、復旧処理の中で“パワーオン”を行っているため、シャットダウン処理が 1 回抜けてしまうために表示される画面です。[コメント(C)]欄に任意の説明文を入力し、[OK]をクリックします。



ログインした仮想マシンで、サービスの起動やデータの確認を行います。



これで仮想マシンの復旧処理は完了となります。

まとめ

仮想マシンを全体イメージでバックアップすると、復旧処理も非常に簡単になります。Arcserve Backup の Agent for Virtual Machines では全体イメージを [raw モード] という設定でバックアップします。復旧処理では、仮想マシンのデータ復元だけでなく、VMware ESX への登録と復旧した仮想マシンのパワーオンまでの一連の処理を Arcserve Backup では実施します。この [raw モード] は、データ損失時に誰もが求める「1 秒でも早くサービス開始を!」という要望に応えるバックアップ/復旧方法です。

製品情報

Arcserve シリーズ 総合情報サイト

<http://arcserve.com/jp/>

テクニカルサポート

<http://www.arcserve.com/jp/support.aspx>

テクニカルサポート: Arcserve Backup r16 for Windows: 製品マニュアル

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/jpsupport/manual.aspx#a01>

テクニカルサポート: Arcserve Backup r16 for Windows: 動作要件

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/jpsupport/sysreq/bab16win.aspx>

無償トライアル申し込みサイト

<https://www.arcserve.com/jp/free-backup-software-trials.aspx>

ご購入の方法

ご購入方法の詳細は Arcserve 販売パートナーへお問い合わせください。

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/partners-list.aspx>